



# 兵庫県立兵庫高等学校 武陽会

49 陽会 (昭和 37 年卒業)

## ~ 卒業 50 周年記念同窓会 ~

と き : 平成 24 年 11 月 3 日 (土・祝) 午後 1 時 ~

と ころ : 神戸三ノ宮 神仙閣

### 記念演奏 : 筑前琵琶 大藪旭晶



<http://www1.ocn.ne.jp/~biwakobo/>

### 演奏曲目

**那須与一** この曲は、平家物語巻十一 那須与一 の章より原文を抜粋し 曲付したものです。祇園精舎 等を除いて平家物語の原文を用いた琵琶歌は この他にはほとんどありません。

屋島の合戦のある日 戦いが一段落した夕暮れ時に 平家方から漕ぎ出された小船の竿の先に扇が掲げられています。平家方からの挑戦と受け止めた義経の命令で 下野の住人・那須与一は 見事に扇を射落とします。その活躍と 源平両軍の喝采の様子を 琵琶の旋律にのせて描いています。



### 琵琶について

琵琶の起源は古く、日本へはおよそ1300年前奈良時代の初め頃に伝わって来たといわれています。そのころの象嵌が施された琵琶が今でも奈良の正倉院に大切に保存されています。紀元前の古代ペルシャ、現在のイランの国辺りにあったバルバットと言う楽器が源流で、ウッド、シタール、リュート、ギターなども琵琶の仲間だそうです。日本の琵琶は大きく分けて四種類あります。

- 盲僧琵琶・九州に伝来し、盲目の僧がかまどの神や地鎮祭などでお経の伴奏に使用。宗教的な要素を色濃く持っていた。
- 樂琵琶・雅楽に用いられる楽器で、宮廷や神社・お寺の儀式用に使われる。箏(ひちりき)、羯鼓(かっこ)、琴などの楽器との合奏に使われている。
- 平家琵琶・樂琵琶と盲僧琵琶の合体したもの、といわれている。平家物語を語るときに伴奏に用いられる。
- 近代琵琶・「薩摩琵琶」と「筑前琵琶」がある。「薩摩琵琶」は九州の薩摩藩(島津藩)で武士の精神修養・嗜みに用いられた。「筑前琵琶」は明治の中頃に、「筑前盲僧琵琶」に「薩摩琵琶」や三味線音楽の要素を取り入れ始められた。また弦が五本の改良琵琶が作られた。両琵琶とも東京へ進出して全国的に広まった。

### 旭晶のよがお

兵庫県明石市出身 現在兵庫県宍粟市に在住 夫君は49陽会の野口昌彦氏 幼少より母大藪旭寿に手ほどきを受け 後に筑前琵琶旭会総師範の二世柴田旭堂の門下となる 関西音楽集団を経て 邦楽グループ〔グループ遊〕を結成 1993年度日本琵琶楽コンクール第二位受賞 NHK邦楽オーディションに1992/93年(東京)、1998年(大阪)と合格 以後FMラジオにて随時放送 1993年より[語り]のいわかね栄さんとのジョイントで 耳なし芳一 おこんじょうりり 山の神と琵琶法師 などの曲付けをし 約10年間学校公演や親子劇場などの演奏活動を行う 筑前琵琶の古典曲の演奏のほか フィンランドの自然を詠った クリスタル・スオミ 谷崎潤一郎原作の 春琴抄 朗読琵琶・桃太郎 壇の浦 朗読琵琶・耳なし芳一 いろは歌 朗読琵琶・小豆島の放哉 等のオリジナル曲の創作にも取り組んでいる 2003年10月NHKテレビ番組〔上方倶楽部・金曜コンサート〕に出演 創作曲を中心に演奏する 優れた古典曲の演奏のみならず 現代に通じる作曲にも取り組み 琵琶の音色をもっと身近なものとして若い世代の方にも聴いて いただきたいと願っています